

広島大学病院 がん医療従事者研修会・在宅緩和ケア研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。
今回はがん医療従事者研修会と在宅緩和ケア研修会の合同開催となっております。
多数の御参加をお待ちしております。

講演1

「緩和ケア病棟から急性期一般病棟 (緩和ケア病床)への移行」



医療法人社団曙会 シムラ病院
理事長 池尻佑美 先生

「シムラ病院は緩和ケアをやめるの？」一決してそうではありません。2026年7月に緩和ケア病棟を転換したのは、当院の理念である「断らない救急と全人的医療」を病棟の枠を超えて拡大・継続するためです。「症状緩和」と「退院支援」の強みはそのままに、どの病棟でも質の高いケアを目指すシムラの医療をお話します。

講演2

「ここまでできる！在宅緩和ケアー在宅医療と 緩和ケア病棟、両方を知る立場からー」



医療法人 秋本クリニックひろしま駅北
院長 太田浩志 先生

2026年度診療報酬改定を契機に、緩和ケアはがんだけでなく非がん疾患へとさらに広がっています。終末期に在宅医療ではどこまでの医療が可能なのか、また緩和ケア病棟にはどのような役割があるのか。在宅医療と緩和ケア病棟の双方で診療に携わる立場から、実際の診療と連携のポイントをお話します。

座長：岡本 渉（広島大学病院 がん治療センター長）
倉田 明子（広島大学病院 緩和ケアセンター副センター長）

開催日時 ▶ 2026年9月25日(金)18:00～19:30(予定)

開催方法 ▶ Zoomによるオンライン受講

【申込方法】

QRコードを読み取り、申込フォームに入力後送信してください

※申込締切 9月15日(火) 17:00 要申込



お問い合わせ先：広島大学病院 医療支援グループ TEL 082-257-5934

(主催) 広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院)

(共催) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学次世代のがんプロフェッショナル養成プラン